



たくさん収穫できるお米の品種を開発中



日本で一番多く栽培されている品種は、「コシヒカリ」です。コシヒカリはおいしいお米として有名ですが、茎が長くて細いため、たくさんお米を収穫しようとして肥料をあげすぎると、自分の重さで倒れてしまいます。最近、品種改良が進められ、コシヒカリのようにおい

しく、しかもコシヒカリよりもたくさん収穫できる品種ができてきました。また、たくさん収穫できて、お酒の原料にも使える品種も開発され、注目を集めています。

◆たくさん収穫できておいしい品種

コシヒカリなどの品種の平均的な収量は、10アール当たり約530キロですが、最近開発され



た「あきだわら」は、10アール当たり600キロを超え
る収量ととがあります。食たべてもおいしく、お米こめの見た目めも
コシヒカリと同じおなくらいきれいです。肥料ひじょうをあげても倒たお
れにくく、安やすくておいしいお米こめを作つくることができます。



◆たくさん収穫ととできて、お酒さけがつくれる品種ひんしゅ

たくさん収穫ととできる品種ひんしゅの中には、お酒さけの原料げんりょうに向む
ているものもあります。最近さい開発かいはいされた「たちはるか」
は、10アール当たり600キロを超える収量ととがあり、な
おかつ倒たおれにくい品種ひんしゅです。食たべてもおいしいのです
が、お米こめのタンパク質たんぱくしつが少すくないので、おいしい日本酒にほんしゅを
造つくることができます。ま

た、「楽風舞らくふうまい」は、収量とと
はそれほど多おほくありませ
んが、日本酒にほんしゅだけでなく、
沖繩おきなわの泡盛あわもじにも適あてしてい
ます。

これらの品種ひんしゅを使つかうこ
とで、安やすくておいしいお
米こめやお酒さけを楽たのしむことが
期待きたいされます。